

# 平成25年第8回県教育委員会会議 教育長報告

## 1 報告事項

「知の拠点としての図書館の果たすべき役割について

～図書館のめざす姿とは～」の答申について

## 2 事項の説明

### (1) 答申に至る経緯

本県の課題等に対応した図書館振興の計画を策定するため、下記の事項について諮問した。

#### ①平成24年2月9日

県教育長から沖縄県社会教育委員の会議に諮問書を手交

「知の拠点としての図書館の果たすべき役割」について

【諮問事項】

- ①公立図書館の役割とあり方
- ②図書館サービスの拡充
- ③公立図書館相互の連携、協力
- ④公立図書館と学校図書館や公民館図書室との連携、協力
- ⑤「読書県おきなわ」をめざした読書活動の推進

※社会教育委員の会議→教育委員会の諮問に応じたり、調査研究等を行うことで社会教育活動を奨励促進するものである。

#### ②平成25年3月15日

社会教育委員の会議議長（起草委員会11回、全体会2回）から県教育長へ答申書を手交

### (2) 答申の概要

#### ①公立図書館の役割とあり方（答申：P10）

復帰40周年を迎え、琉球の歴史と沖縄戦の痛みから学び、平和を機軸に据えた社会を創ることは沖縄県民の日本社会における役割である。そこで、非戦教育に関連する文献整備や情報提供、さらに、自然環境保全や人権擁護などまで含んだ平和文化構築に関わる知の拠点として公立図書館を「平和文化創造のランドマーク」と位置づける。特に、県立図書館には、資料収集、専門職の人材育成、情報発信等中核的な役割が期待される。

#### ② 図書館サービスの拡充（答申：P11）

ア 図書館サービスの理解促進

図書館が心の拠り所となり、様々な課題に対して進むべき方向性を示唆することができる「地域の役に立つ図書館」であることを周知する。

イ 図書館サービスの充実

- ・ 県立図書館による「広域型サービス」への取組の充実
- ・ 県立図書館、市町村立図書館による「課題解決型図書館」をめざした取組の充実
- ・ 琉球、沖縄関係資料の充実
- ・ 「人と本をつなぐ読書活動」の取組

ウ 図書館サービス充実のための人材育成

図書館司書の資質向上のための計画的な研修の実施や、有資格者の配置増、公立図書館職員の専門性を確保する人事上の配慮が必要である。

エ 施設設備の充実

今後の図書館の設置や改築にあたっては、それぞれの図書館の理念や方針に応じて、複合施設としての図書館も検討に値する。また、県立図書館については、築29年が経過し、老朽化が見られることから、今後は新しい時代に即した機能の充実を図り、その役割を果たす観点からの施設整備を踏まえ、改築、新築の検討も必要である。

**③公立図書館相互の連携、協力**

(答申：P13～15)

**④公立図書館と学校図書館や公民館図書室との連携**

- ア 市町村立図書館に対する日常的な図書館間の連絡・調整、図書資料の相互貸借、レファレンスサービスの充実等の支援（県立図書館）
- イ 効果的かつ住民が利用しやすい図書館作りをめざした、読書週間の取組、研修会・情報交換の協力についての連携と推進（市町村立図書館）
- ウ 県立図書館と市町村立図書館の役割の明確化
- エ 横断検索システム活用の充実
- オ 民間機関・団体等と連携した図書館サービスの充実

**⑤「読書県おきなわ」をめざした読書活動の推進**

(答申：P16)

すべての県民が「いつでも、どこでも、だれでも」読書に親しみ、読書を楽しみ、読書を活かすことができる望ましい読書習慣が確立されていく「読書県おきなわ」をめざし、読書環境の整備と拡充を図る。

ア 役割分担を明確にした読書活動の推進

<学校の取組>

読書の質的向上を図ることを目的とし、自分を豊かにする1冊に出会わせるため、子どもの発達段階や特性を考慮した選書を行う。

<家庭の取組>

毎月第三日曜日の「家庭の日」を「ファミリー読書の日」と設定し広く周知を図るとともに、「読書フォーラム」での実践紹介により読書の奨励を行う。

<地域の取組>

児童館等の整備や地域文庫及び読書活動団体への活動支援を行う。

イ 司書の役割

ウ 図書資料費の充実

(3) 今後の取組（答申を受けて）

- ① 「第三次沖縄県子ども読書活動推進計画（H26年～H30年）」の策定（25年度）
- ② 「沖縄県の図書館振興計画（仮題）」の策定（26～27年度）